

★① 「適期に中干しを開始」しましょう！
★② 「葉いもち対策を徹底」しましょう！



中干しの“開始適期”は平年並みの予想です。

適期を逃さず中干しを開始しましょう！！

生育概況

5月前半は、気温の寒暖差・日較差が大きく一部のほ場（軟弱徒長苗）で植え痛みが発生しているほ場もありましたが、5月後半からは安定した天候が続いていることから、水稲の活着・初期生育は“概ね良好”となっています。なお、移植日や苗質の良否によってはほ場間の生育差が大きくなっています。

- ① 中干し・溝切り開始の遅れは、籾数過剰や倒伏が助長されることで結果的に“品質低下”の大きな要因となります。ほ場ごとの生育量＝「茎数」を確認して、遅れずに中干しを開始して下さい。
- ② 気温の上昇によりワキが発生し、生育停滞しているほ場があります。
浅水管理の徹底から夜間落水や水の更新により“ガス抜き”しましょう！！

生育調査結果（5月30日調査）

① わたぼうし

	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (葉)	移植日
寺泊下桐	24.2	92	5.5	5/3
与板町江西	28.9	91	4.7	5/1
飯塚前之島	26.1	158	5.4	5/3
本年平均	26.4	113	5.2	-
平年値	27.7	106	6.0	-
平年比(差)	95%	107%	-0.8	-

③ 五百万石

	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (葉)	移植日
出雲崎馬草	24.2	227	5.4	-
寺泊戸崎	22.5	101	6.6	-
三島上岩井	25.0	111	5.1	5/3
来迎寺前田	17.9	46	4.1	5/18
本年平均	22.4	121	5.3	-
平年値	24.2	133	5.7	-
平年比(差)	93%	91%	-0.4	-

⑤ 新之助

	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (葉)	移植日
和島日野浦	27.9	96	5.1	5/15
与板町江西	19.6	70	4.7	5/13
岩田原	16.0	84	3.5	5/18
本年平均	21.2	83	4.4	-
平年値	23.6	92	4.9	-
平年比(差)	90%	91%	-0.5	-

② ゆきみらい

	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (葉)	移植日
和島上桐	27.9	104	5.9	5/3
三島中条	28.0	113	5.5	5/1
飯塚前之島	26.0	175	5.8	4/27
本年平均	27.3	131	5.7	-
平年値	29.9	141	6.2	-
平年比(差)	91%	93%	-0.5	-

④ ゆきの精

	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (葉)	移植日
出雲崎別ヶ谷	22.2	103	5.4	-
三島七日市	23.9	141	5.0	5/4
本年平均	23.1	122	5.2	-
平年値	26.0	130	5.9	-
平年比(差)	89%	94%	-0.7	-

⑥ あきだわら

	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (葉)	移植日
和島島崎	25.7	106	5.2	5/3
平年値	26.9	122	5.5	-
平年比(差)	96%	87%	-0.3	-

⑦ にじのきらめき

	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (葉)	移植日
小島谷	20.1	55	4.5	-
上岩井三田	29.3	76	4.0	5/6
本年平均	24.7	66	4.3	-
平年値	24.5	103	5.1	-
平年比(差)	101%	64%	-0.8	-

裏面の「技術対策」もご確認ください！！

《 当面の重点技術対策 》

1. 適期：中干し開始（適正生育量の確保）

品種・圃場ごとの生育量（茎数）を確認して適期に“中干しを開始”しましょう!!

(1) 中干し開始の目安 … 目標茎数(目標穂数の80%程度)を確保したら **速やかに!**

品種名	わたぼうし	ゆきみらい	五百万石	ゆきの精	にじのきらめき	あきだわら	新之助	
目標穂数	350本/m ²	380本/m ²	325本/m ²	380本/m ²	400本/m ²	350本/m ²	400本/m ²	
中干し開始の目安 (60株植)	草丈	28cm	30cm	28cm	30cm	32cm	28cm	30cm
	茎数	280本/m ²	300本/m ²	260本/m ²	300本/m ²	320本/m ²	280本/m ²	320本/m ²
		16本/株	17本/株	15本/株	17本/株	17本/株	16本/株	18本/株
葉数	7.0葉							

※ 生育過剰になりやすい地域・ほ場では、早め（目標穂数の70%程度）の中干し開始を徹底して下さい。

※ 新之助は50株植の目標茎数となっております。

向こう1カ月の天候は平年と比べて「気温：高い」「降水量：ほぼ平年並み」の予想となっております。中干し開始が遅くなり過ぎると、生育過剰による“未熟粒の増加や病害虫の発生リスク”も高まり、品質低下につながります。開始適期を逸さないよう中干しを開始して本格的な梅雨前に「地固め」しましょう!!



中干しの「開始適期」です!!



茎数が多くなり過ぎたこの状態では遅すぎます!

(2) 溝切り … 中干しの効果を高めるために、全ほ場で「溝切り」を実施しましょう!!

①溝の間隔は「最低でも10条(3.0m)に1本程度」、②溝の深さは「10cm以上」、③各溝の末端は必ず排水溝につなげましょう。作溝が不十分な場合は、再度溝切りを実施します。 *参照:稲作情報No6

2. 葉いもち対策

契約栽培わたぼうしは、葉いもち防除が“必須”です!

(1) 放置してある補植苗は、いもち病の発生源となります。→ 直ちに補植苗を撤去しましょう!!

(2) いもち病の発生しやすいほ場(常発地域・基盤整備あと・大豆あと)や品種(新之助等)で、育苗箱処理剤による葉いもち防除を実施していない場合は、中干し開始前までに予防剤による葉いもち防除を徹底しましょう。

(3) 茎数過剰は、葉いもちの発生を助長します。適期中干しにより過繁茂を防止しましょう。



えちご中越農業協同組合 ☎0258(41)2887	さんとう北営農センター	☎0258(74)3434
	さんとう営農センター	☎0258(42)4133
	こしじ営農センター	☎0258(92)5606

(^^)/ 営農情報のお問い合わせは、お気軽に最寄りの営農センターへ (^^)/